

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	28	遠方のご家族には面会にもなかなか来れず、電話のやりとりにて入居者様の情報を共有し、ご家族の希望を取り入れたプランを計画作成担当者が中心となって作成し、ご家族が遠方の入居者様へのケアに取り組んでいる。	遠方におられても、近隣のご家族と大差ない情報の共有が出来るようなシステムの見直しを行う。	①日頃の生活状況写真や状況報告書を請求書に同封するなどして、ご家族との情報共有を密にし、ご家族の意見や考えをより多く取り入れたプラン作成を行い、ご家族や本人が希望するケアに当たる。	6 か月	
2	14	地域の人権問題には機会があれば参加していたつもりであったが、真剣に取り組んではいなかった。また、外部研修で知りえた情報を皆で共有する努力をしていなかった。	地域の人権関係の研修や関連施設での人権問題の研修があった時には積極的に参加する。最低でも年に一度は研修を受けたい。	①外部研修で知りえた情報は内部研修などで伝える。 ②人権関係の資料やDVDなどの視聴で職員の学習に努める。	12 か月	
3	4	運営推進会議での未決の問題や決定事項は、多くのご家族が集まる家族会(6月、12月の運営推進会議)にて報告したり掲示板にて報告している。また、運営推進会議の議事録の閲覧はカウンター前にて出来る状況ではあるが、あまり活用されていない。	ご家族への報告にスピード感を与えるために、決定事項や連絡事項は毎月の請求書の封書の中に同封したり掲示板などで伝える。また、ホームがどのような活動を行っているのか、広報にも力を入れる。	①運営推進会議の議事録を見やすく整理し、閲覧しやすい状況を作る。 ②掲示板でのお知らせは今後も続ける。 ③運営推進会議の行われた翌月の請求書の中に運営推進会議議事録を入れる。	3 か月	
4	6	入居者の安全のためと思い、行っていることでも身体拘束に当たることもあり、職員会議やカンファレンスでもそういった場面に遭遇した時には注意を促しているものの、最近では身体拘束に関する外部研修に参加することが少なかった。	身体拘束に関する外部研修には出来る限り参加する。また、学んだ研修内容を内部の勉強会で他の職員に報告し研鑽に努める。	①県の研修や社協の研修の広報などにより、情報を得て、研修の参加を行う。 ②外部研修にて学んだ事項を研修受講者が講師となり内部研修を行う。	12 か月	
5					か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。
 注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入して下さい。
 注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。
 注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。

サービス評価の実施と活用状況表

事業所のサービス評価の実施と活用状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】		取り組んだ内容	
実施段階		(↓該当するものすべてに○印)	
1	サービス評価の事前準備	<input type="radio"/>	①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者へサービス評価について説明した
		<input type="radio"/>	③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
		<input type="radio"/>	④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
		<input type="radio"/>	⑤その他()
2	自己評価の実施	<input type="radio"/>	①自己評価を職員全員が実施した
		<input type="radio"/>	②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
		<input type="radio"/>	③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
		<input type="radio"/>	④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
		<input type="radio"/>	⑤その他()
3	外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/>	①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
		<input type="radio"/>	②評価項目のねらいを踏まえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
		<input type="radio"/>	③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
		<input type="radio"/>	④その他()
4	評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/>	①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
		<input type="radio"/>	②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	③市区町村へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った(予定である)
		<input type="radio"/>	④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
		<input type="radio"/>	⑤その他()
5	サービス評価の活用	<input type="radio"/>	①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
		<input type="radio"/>	②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
		<input type="radio"/>	③「目標達成計画」を市区町村へ説明し、提出した(する)
		<input type="radio"/>	④「目標達成計画」に則り、目標達成に向けて取り組んだ(取り組む)
		<input type="radio"/>	⑤その他()